

あなたの人生と共に

J Aの くらしの活動

くらしの活動って..

組合員や地域住民の皆さんの暮らしの中には、より良い人生を歩んでいくための、さまざまな希望や願い、多様なニーズがあります。皆さんが感じているそういった思いを叶え、安心して暮らせる豊かな地域社会の実現に向けて、仲間とともに創り上げる自主的な活動が「くらしの活動」です。JAは、組合員が自主的に取り組むくらしの活動を積極的に支援しています。

地域・協同活動の活性化を

JAは、第3次中期経営計画(平成28年度～平成30年度)に掲げる「農業者の所得増大・農業生産の拡大」「地域の活性化・協同活動の活性化」「結びつき強化・経営基盤強化」の3本柱を基本目標として取り組んでいます。くらしの活動は、その中の地域の活性化

と協同活動の活性化、そして結びつき強化に繋がる重要な取り組みとして位置付けており、組合員と地域の願いを実現することを目的としています。

広がる農業・JAファンの輪

平成28年4月に「農協改革を踏まえた改正農協法が施行されるなど、農業・農村・JAが置かれる環境が厳しさを増す中、私たちJAと組合員は、地域農業を守り未来に残す使命があります。そのためには、地域に根差した協同組合組織として、地域住民をはじめとした多くの人々に、「JAっていいな」「農業は必要不可欠な貴重なもの」と感じてもらう、農業やJAのファンになってもらう活動が必要です。

それがまさにくらしの活動であり、この活動の活発化が協同活動の発展に繋がります。さまざまなくらしの活動(小さな協同活動)を通して仲間の輪が広がり、それが大きな協同として渦を巻くこととなります。小さな協同活動の連携は地域コミュニティを活性化させ、農業・農村地域の向上に結びつきます。このようなくらしの活動の展開は、JAファンの誕生↓新たな組合員の加入↓JA事業へ積極的に参加・参画する組合員の拡大↓JAの組織基盤強化↓安心して暮らせる豊かな地域社会の実現へと繋がります。

JA組合員の皆さんは、さまざまな場面で「くらしの活動」という言葉を耳にすると思われます。なぜ、これほどくらしの活動がクローズアップされ、必要とされているのでしょうか。今回の特集では、くらしの活動が何なのか、どのような効果を生むのかを紐解いていきます。また、7月1日に行われた「JAくらしの活動大会」についてお伝えします。

心の豊かさを求め、潤いのある生涯を送りたい 精神面	健康に恵まれ、老後も元気に安心して暮らしたい 身体面	一定の収入を確保して、ゆとりのある生活がしたい 経済面
-------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------

組合員の願い、多様なニーズ、組合員と地域が抱える思いや希望

自らが主体的に活動に参加し、生きがいを追求したい 自己実現	地域や他者の役に立ち、充実感のある人生を送りたい 社会貢献	住みよい地域環境を守り、快適に暮らしたい 環境面
---	---	------------------------------------

これらの願いを実現させるのがくらしの活動です

JAはさまざまな事業や活動で組合員の皆さんが展開する「くらしの活動」を支えます

- 総合事業**
営農/生活/信用/共済/購買/産直/婚活
- 健康推進**
人間ドック/健康講座
- 介護・高齢者福祉**
デイサービス/元気高齢者活動/認知症サポーター
- 食と農を繋ぐ活動**
食農教育/農業体験学習/料理教室/グリーン・ツーリズム
- くらしと家計**
子育て支援/ライフプラン設定/趣味活動支援
- 学びと仲間作り**
女性大学/サークル活動/各種講習会
- ・・・など

地域に密着するJA27支店が拠点となって

相談、企画立て、場所づくり、きっかけづくり...など

支店という大きな樹の下で

たくさんの人が集い、声を発し、活動を起こし、思いを共有し、創り上げていく「くらしの活動」

仲間とともに、くらしの活動を展開していくことは、小さな協同活動がたくさん生まれるということです。

魅力的な地域や活動には、人が集まり、その小さな輪の広がりやがて大きな力になります。

農業やJAのファンが増え、新たな仲間(新規組合員)が加わり、農業の応援団(准組合員・地域住民)が誕生!

積極的にJA事業に参加・参画する組合員が拡大!

組織基盤が強化され、地域コミュニティや地域農業の活性化へと繋がる!

組合員・地域住民が抱える問題が解決されていく。

安心して暮らせる豊かな地域社会が実現する

農業・農村を取り巻く状況から、見えてくる

「くらしの活動」の重要性

現在の農業や農村を取り巻く状況を確認し、本来あるべき姿を想像し、そこから見えてくる目指すべき未来に向けて「くらしの活動」を実践しよう!

現状①

人口減少

若者層の三大都市への人口移動から、少子化や人口減少が発生。地方や農村に重大な影響を及ぼす将来予想がある。

地方創生に向けた「地域の活性化」や、安心して暮らせる「魅力ある農村・地域づくり」に取り組み、「ここで生きていきたい」と思える地域にする。

現状②

農家世帯員の高齢化

農家世帯員の減少が進み、高齢化も急速に進展

くらしを。

食と農、地域とJAを結び取り組みで「地域農業振興」を図る。地域コミュニティや仲間づくりを強化し、定年後の帰農者や新規就農者も含めた新たな「多様な担い手」を取り込み育てる。

現状③

第一世代の交代

これまで地域農業を支えて、JAの中核を担ってきた第一世代(70歳～80歳)が世代交代を迎えている。

第一世代が築き上げてきた農村や伝統文化を守り、次世代に繋げる。安定した農業経営や魅力あるJA総合事業の展開のほか、新たな利用者や理解者となる農業やJAのファン、仲間作りを強化する。